

第28回

うつのみやこども賞だより

平成23年度 第1回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『竜の座卓』

朝比奈蓉子／作 金沢まりこ／絵 (偕成社)



～読んだ本の感想より～

- 性格の悪い“てつ兄”が座卓によって優しくなっていくところが面白かった。
- てつと家族との関わりで少しハラハラした。表現が面白く、また読みたくなった。
- おじいちゃんと兄弟の絆が書かれてあり感動した。また読みたくなった。
- じいちゃんのリハビリを通して家族の絆が深まっていくのが、すばらしいと思いました。じいちゃんからのメッセージや「もっと冒険しろ」という言葉には、とてもとても心をひかれました。
- てつがお父さんのことを最後に許すのがいいと思いました。
- 亡くなったおじいちゃんとの机、というのがとーっても感動して面白かった。

『ゴエさん』 結城乃香／作 (朝日学生新聞社)

- ゴエさんのずっと探していた子どもが孝太郎だった、というところが面白かったです。
- 「石川五右衛門」は知っていたけど、歴史のことやどんな人物かも分かり、内容も面白くて読みやすかった。
- 最後にゴエさんが孝太郎の家を出て行く時に、ゴエさんが言った言葉にとても感動しました。
- 親が子どもを思う気持ちと、子どもが親を思う気持ちはまったく一緒なんだなと思いました。うまく表には表せなくても、心の中はととてもお互いを思っていることがわかりました。
- ゴエさんは大ドロボーだけれど、すごく家族思いのところがいいと思いました。

『木工少女』 濱野京子／作 (講談社)

- 2学期も峯川に居たいという美楽の心の変化は、友達やデンさんのおかげだと思う。
- 無口だった美楽が木工によって明るくなっていくところが心に残りました。
- ベンチを作るところがよかった。
- 美楽が「あけの」工房に通っているうちに、いろんな人とのつながりが深くなっていく所が面白かったです。
- 美楽とデンさん達が、田舎の自然の中で楽しく過ごすのがよかった。

『リターン!』 山口理／作 (文研出版)

- ブーメランについてよく書いてあった。自分もブーメランがやりたいと思った。
- 「待つことが大切。」そんなキーワードがたくさん出てきたと思います。私も待ち続けていれば、いつかきっとできるようになる、と思いました。
- イツキがブーメランと出会ってどんどん積極的になっていくところがよかった。
- 班の人が同じ目標をめざしていくところがよかった。